

大崎市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問い合わせください。

情報の利用停止を希望された場合でも、治療に影響が出ることはありませんので、安心してお申し出ください。

研究課題名	当院における膝関節側面撮影の再撮影率改善の検討
当院の研究責任者	所 属 : 本院放射線部 氏 名 : 軽部 恭成
他の研究機関および各施設の研究責任者	当院での単独研究です。
本研究の目的	<p>一般撮影における再撮影は、患者様負担の増加、検査効率の低下、被ばく線量の増加に繋がります。当院の 2024 年度データでは膝関節側面撮影の再撮影率が最も高く、改善が必要でありました。</p> <p>そこで、当院の診療放射線技師に対し、膝関節側面撮影に関する再教育を行う。膝関節側面の撮影方法に関わる勉強会を 2025 年 9 月から毎月行っています。再教育の有効性を評価するため、再教育期間前後における再撮影率の比較検討を行います。</p>
研究実施期間	倫理審査委員会承認後 ～ 西暦 2025 年 12 月 31 日
調査データ 該当期間	西暦 2025 年 4 月 1 日 ～ 西暦 2025 年 12 月 31 日
研究の方法 (使用する試料等)	症例収集期間 (2025/4/1～2025/12/31) において、当院で膝関節側面を撮影した患者さんを対象とします。年齢、性別、疾患名による制限はしません。撮影合格基準の異なる術前計測用の撮影は、適正比較

	<p>が困難になるため除外とします。</p> <p>一般撮影装置(CS-7)から写損数(再撮影数)を抽出し、放射線科情報システム(RIS)から撮影件数のデータを取得して再撮影率を以下の式で算出します。</p> $\text{再撮影率} = \frac{\text{再撮影数}}{\text{総撮影数}} = \frac{\text{再撮影数}}{(\text{総検査数} + \text{再撮影数})}$ <p>すべて既存のデータを用いますので、本研究に参加する患者さんに新たな身体的・経済的な負担はありません。</p>
使用する試料等	<p>当院に保存される膝関節側面撮影の再撮影を含む総撮影数のデータを使用します。</p>
試料情報の他の研究機関への提供および提供方法	<p>他施設へ情報を提供することはありません。</p>
個人情報の取り扱い	<p>個人情報はすべて匿名化した上で統計的に処理されます。</p> <p>個々の患者さんを特定できる情報が公表されることはありません。</p>
本研究の資金源(利益相反)	<p>特にありません</p>
お問い合わせ先 (照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先)	<p>住所：大崎市古川穂波三丁目8番1号 電話：0229-23-3311 研究責任者 大崎市民病院 本院放射線部 軽部 恭成</p>
備考	